

# ●景観に対する市民意識調査の分析

## 1 市民の景観に対する関心度

景観行政を推進する上で、市民と協働で取り組むことが重要です。

市民の蒲郡市の景観に対する関心や満足度によっては、取り組むべき方向性が異なってきます。

### (1) アンケート調査結果

- まちなみや自然などの景観について、82.6%の割合で景観に対して関心があることが分かりました。(問1)
- 蒲郡市全体の景観について、58.4%の割合で蒲郡市全体の景観について満足していることが分かりました。(問2)

### (2) 景観写真

「残していきたいがまごおりの景観」というテーマで景観写真の募集を行いました。

募集の結果、17名から141枚の写真をいただきました。中には、蒲郡市の優れた景観に対する思いを書いた手紙を添えていただいたものもあります。

●市民意識調査から、蒲郡市民の景観に対する関心は高く、蒲郡市全体の景観に対する満足度は比較的良好であることから、現状の景観が評価されていることが分かります。

## 2 蒲郡市の景観特性

本市は、広い視点で見ると、海と山に囲まれた特有の自然地形をはじめとした動きのあるアウトラインを持った地形と、比較的コンパクトにまとまった市街地とで織り成し、調和した都市景観があります。

これらは「蒲郡らしい都市景観」で、他には見られない大切な資産であると考えます。このほとんどは、日常で何気なく目にする風景が多く、景観を形成している要素を知ることによって改めて気づくことができます。この景観を将来に渡り、守ることが大切です。

その一方、広い視点で見た景観を地区レベルの視点で見た場合には、次のような課題を解決することや景観を創出することも大切です。

- 観光資源がまとまったエリアでは、建物などの老朽化や屋外広告物が不適切であるなど都市景観を阻害するような課題があること。
- 地元地域に愛着のある地域では、一歩踏み込んだ取り組みにより、さらに住みやすいまちづくりを進めること。
- 今後の市街地形成が見込まれるエリアにおける景観づくりを考えること。

●このように、都市景観に関する取り組みは、視点を分けて進める必要があります。

次の事項では、それぞれの視点で見た蒲郡市の景観特性について調査結果を元に分析します。

## (1) 広い視点で見た景観特性

### ① アンケート調査結果

82.6%が蒲郡市全体の景観について満足しています。「蒲郡市の景観を形成している次の項目について、あなたはどの程度魅力を感じていますか。」という問いに対して魅力的だと回答した、以下の項目の影響が大きいことが分かります。(問3)

《魅力的であると回答された割合》

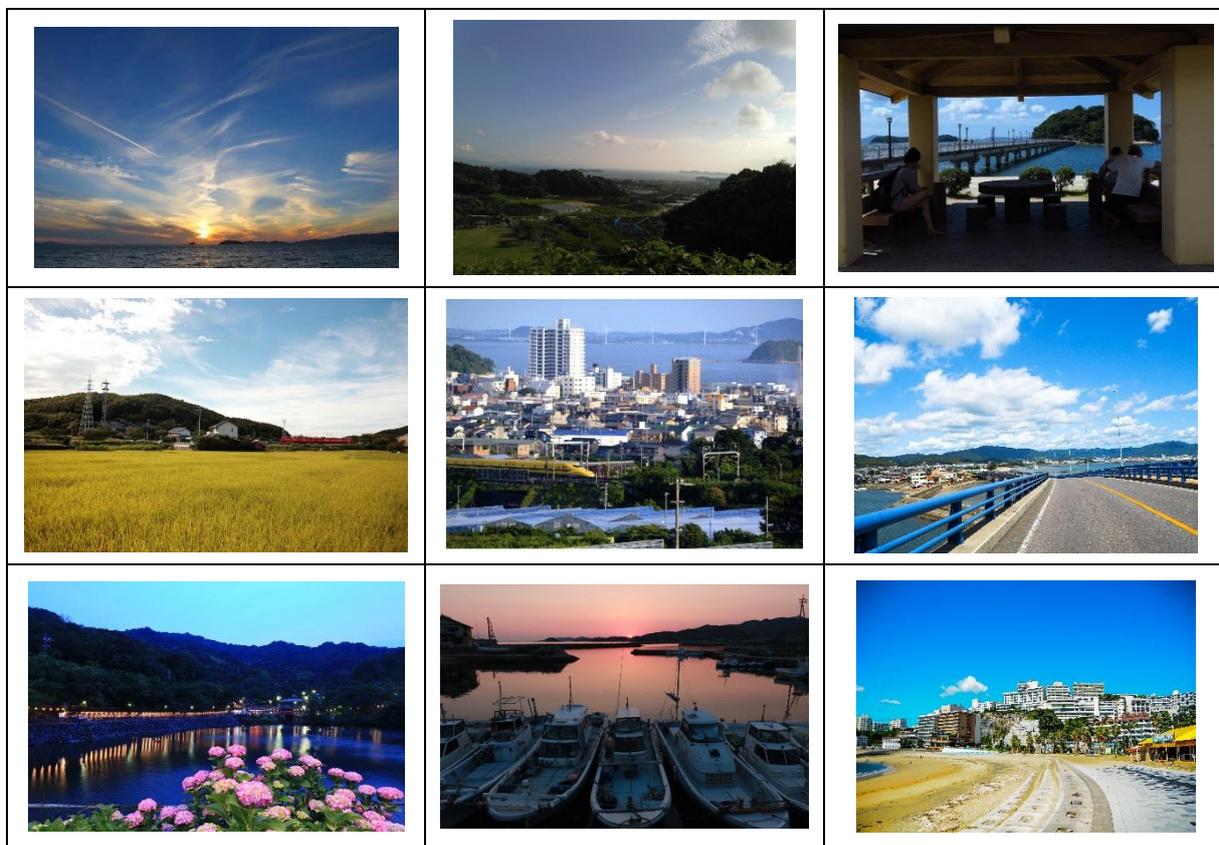
- 高台から見た三河湾とまちなみ・・・91.5%
- 海岸線・・・・・・・・・・・・・・・・82.9%
- 五井山や遠望峰山などの山なみ・・・74.6%
- みかん畑や田園・・・・・・・・・・・・70.1%

その一方、以下の項目において魅力的でないと回答していることから、これらは市域全体の景観の満足度に与える影響としては低いと言えます。(問3)

《魅力的ではないと回答された割合》

- 河川・・・・・・・・・・・・・・・・78.7%
- 社寺・史跡など歴史的資産のたたずまい・・・56.7%

### ② 景観写真



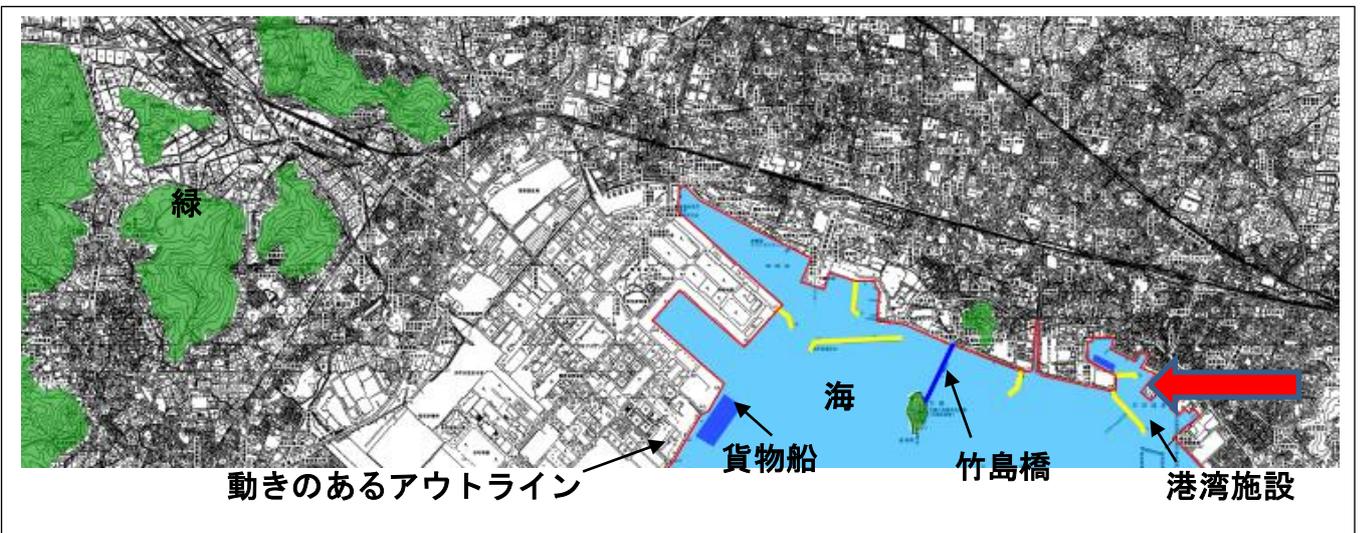
写真募集における撮影地は、市内の東西各所で残していきたい蒲郡の景観が撮られており、それらには、アンケート調査で得られた要素が多く含まれています。

### ③蒲郡市特有の景観形成要素

ここでは、海と山に囲まれた自然豊かで、動きのあるアウトラインを持った地形やコンパクトな市街地とで構成されている蒲郡市特有の景観を形成する要素を示します。

●地形図に示すように、本市特有の景観の多くは景観資源、空と山並みのスカイラインとが組み合わせられて形成されており、写真募集において、市内各所に現れています。

《竹島周辺地域》



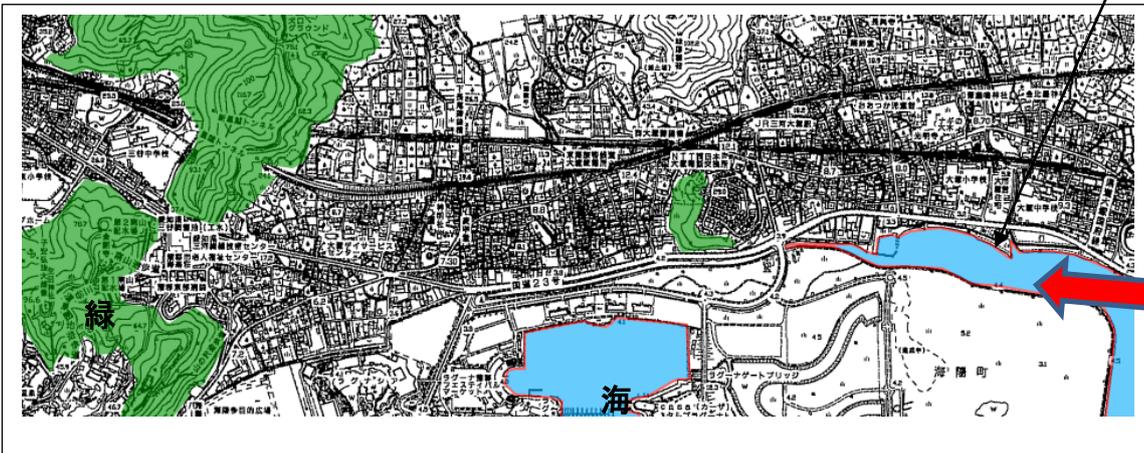


動きのあるアウトライン

《大塚周辺地域》



動きのあるアウトライン



## (2) 地区レベルの視点で見た景観特性（アンケート調査結果）

「蒲郡市の景観を形成している次の項目について、あなたはどの程度魅力を感じていますか」という問いにおいて高い評価であった海岸線について、地区レベルで見た場合、特に思い浮かぶ場所として魅力度が高かった地区は、以下のとおりです。(問3)

《海岸線で魅力的であるとする回答のうち、特に思い浮かぶ場所として挙げられた場所》

- 竹島地区周辺・・・39.1%
- ラグーナ蒲郡地区周辺・・・23.6%
- 西浦地区周辺・・・16.9%

※この項目では、他の選択肢に次のものがありますが、いずれも10%以下の割合であり、上記の3地区は高い評価と言えます。(三谷地区周辺、春日浦地区周辺、その他、無回答)

観光地のまちなみの魅力度は以下のとおりです。(問3)

《魅力的であると感じる地区》

- ラグーナ蒲郡地区・・・69.8%
- 蒲郡温泉地区・・・64.2%

《魅力的でないと感じる地区》

- 三谷温泉地区・・・70.2%
- 形原温泉地区・・・76.7%

《魅力度が約半数に分かれている地区》

- 西浦温泉地区

### ①地区レベルで見た景観の評価結果による地区の分類

広い視点で見た景観については、市域全体にわたり魅力的であると評価ができ、「蒲郡らしい都市景観」が形成されているといえますが、その中にある地区レベルで見た景観は、広い視点で見た景観を構成する要素ではあるものの、評価が「高い地区」と「低い地区」が存在していることが明らかになりました。(問3)

《景観が魅力的である地区》

- ラグーナ蒲郡地区
- 竹島周辺（蒲郡温泉地区）

アンケート調査で質問した「将来へ残していきたい景観」では、竹島周辺の景観が1位であり、「今後も大切にしたい「建造物」や「樹木」」では、蒲郡クラシック

ホテルが1位、竹島橋が3位であることから、竹島周辺の景観に対して、市民の関心や愛着があるとと言えます。(問4、問5) また募集した景観写真においても、竹島地区の写真が多く見受けられ、近景・中景を写した多くの写真で竹島周辺や蒲郡クラシックホテルが挙げられていることから、地区レベルでの景観資源が豊富なことが窺えます。



近景

近景では景観資源そのものにスポットをあてているため、景観資源自体の外観や状況が景観の魅力に直接影響します。



ラグーナ蒲郡地区



竹島周辺 (蒲郡温泉地区)

《景観が魅力的とはいえない地区》

- 三谷温泉地区
- 形原温泉地区

アンケート調査で質問した「景観を損ねていると思うもの」では、次のような意見がありました。  
(問6)

《三谷温泉地区》

手入れされていない空き地
管理されていない空き家
道路のごみ
海岸のごみ、汚れ
殺風景なブロック塀
海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
資材置き場やごみ集積場などに積み上げられた、資材や土砂・廃棄物

《形原温泉地区》

この質問では、該当するものはありませんでした。(問6)

《海岸線は魅力的だが温泉地は魅力的とはいえない地区》

- 西浦温泉地区

アンケート調査で質問した「景観を損ねていると思うもの」では、以下のような意見がありました。(問6)

《西浦温泉地区》

手入れされていない空き地
管理されていない空き家
海岸のごみ、汚れ
コンクリートで覆われた斜面
海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
資材置き場やごみ集積場などに積み上げられた、資材や土砂・廃棄物

②地区レベルで魅力的とはいえない地区のまとめ

- アンケート調査により明らかとなった以上の3地区は、いずれも観光振興に対する取り組みをしていますが、観光地としての魅力を高めるためには、景観を向上させることも必要です。また、地区レベルの取り組みは、地元地域との協働により進めることも大切です。

### 3 景観の向上に関連する地域の環境美化について

#### (1) 小学校区（コミュニティ）単位の課題について

アンケート調査では、回答して頂いた方のお住まいの小学校区（コミュニティ）をお答えいただいています。これにより、コミュニティ単位で「地域の住宅地や公園などのまちなみ」に対する魅力度の傾向が把握できます。（問3、問16）

その結果、いずれの地域でも魅力的であるとの回答がほぼ過半数以下でした。

#### (2) 景観を損ねているもの

アンケート調査で「景観を損ねていると思うもの」に対して回答があったものは以下のように地域の環境に関するものが多くありました。（問6）

《環境を損ねていると思うもの》

まちなかの花や緑の少なさ
手入れされていない農地や空き地
管理されていない空き家
道路や河川のごみ
海岸のごみ、汚れ
電線や電柱
管理が行き届いていない公園
資材置き場やごみ集積場などに積み上げられた、資材や土砂・廃棄物

#### (3) 地域の課題のまとめ

- 地域の魅力を損ねているものの多くは、緑の手入れや清掃、施設の管理に関するものが要因であるといえます。これらは、行政の役割であることは当然ですが、市民一人ひとりや企業と協働で地道な活動の積み重ねによって景観を向上させることも重要です。また、アンケート調査により、今後、景観づくりとして、環境美化活動に参加してみたいと回答した方が多いことが分かり、改めて環境美化に対する意識が高いことを再認識することができました。

### 4 今後の景観づくりの方向性について

市民意識調査により、本市が有する景観資源や残していきたいものなどから、蒲郡市の景観特性を把握しました。また、アンケート調査では、蒲郡市の「現在の景観」と「これからの景観」のイメージについて回答をしていただきました。（問7、問8）

その結果、「自然」「観光」「温泉」「海」「漁港」「マリーナ」といった本市の景観特性を表す言葉がいずれも上位を占めています。また、印象を表す言葉としては「現在の景観」では「のどか」「素朴」が多く挙げられ、「これからの景観」では「親しみやすい」「のどか」「にぎわい」が挙げられており、愛着ある、活気あふれるまちなみへの期待が窺えます。

- 「自然・海・観光・温泉」といった自然豊かな観光地と自然と密着した生活を継承し、愛着ある、活気溢れる景観づくりが期待されています。

## 5 景観づくりのルールについて

### (1) 景観づくりのためのルールの必要性について

アンケート調査の景観づくりに関する質問で、ルールを設定することに対する回答は以下のとおりでした。(問9)

- 必要がある・・・・・・・・・・13.2%
- ある程度は必要だ・・・・・・・・53.4%
- あまり必要だとは思わない・・11.9%
- 必要ない・・・・・・・・・・15.8%
- 無回答・・・・・・・・・・5.7%

また、ルールを設ける場合、どのように設定すべきかについては、以下のとおりでした。(問10)

- 市の全域にきめ細やかなルールを設けるべき・・・・・・・・・・3.6%
- 市の全域に緩やかな最低限のルールを設けるべき・・・・・・・・40.7%
- 市の全域は緩やかなルールを設け、  
景観上重要な地区はきめ細やかなルールを設けるべき・・・・50.9%
- その他・・・・・・・・・・2.5%
- 無回答・・・・・・・・・・2.3%

景観づくりのためのルールについては、ある程度必要との回答が多く、またルール設定については市の全域に緩やかな最低限のルールを設けるべき、市の全域は緩やかなルールを設け、景観上重要な地区はきめ細やかなルールを設けるべきとの回答が多くなりました。

- 市民意識調査からも読み取れる「最低限のルール」について、蒲郡市の景観特性に合わせた現実的な設定を、その他調査を実施・検討し、計画に反映させていく必要があります。また景観上重要と思われる地区については、ステップアップした取り組みとして地域住民との協働による景観保全や形成について検討する必要があります。

## (2) 景観づくりの取組みについて

景観づくりのために、市が取り組むべきことについては、票数が多かった順に以下のとおりでした。(問11)

- 街路樹・花などによって道路などを緑化する
- 良好な景観に貢献するような公共施設を整備する
- 積極的な景観づくりを行う市民や団体に対して支援する
- 電線類の地中化などの無電柱化を行う
- 景観に関する取組みなどの情報を、広報やホームページ上で発信する
- 景観に関する専門家の派遣や育成を行う
- 建築物の高さやデザイン、色などについてルールを設ける
- 広告物や看板の大きさ・色・設置場所についてルールを設ける
- 景観づくりのセミナー、講習会などを開催する
- その他

今後、参加してみたい景観づくりについては、票数が多かった順に以下のとおりでした。

(問12)

- 家庭で花や緑を増やす
- まちあるき等を行い、景観に対する意識を高める
- 道路や公園などの環境美化活動に参加する
- 特になし
- 自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する
- 講演会等に参加し、景観に関する知識を深める
- その他

今後の景観づくりへの取組みについて見てみると、花や緑への関心の高さが見られます。また市が取り組むべきことについては景観を高めるハード整備事業のほか、市民や団体への支援や情報発信などのソフト事業など幅広く求められています。

市民参加においても、まちあるきなどの景観への関心を深める活動や日常の環境美化活動への関心が見られました。

●市の景観に関する取組みの方針を総合的に検討するとともに、市民による景観まちづくりへの支援などと合わせて、市民・事業者・行政の協働による景観づくりの手法についても検討していきます。



## ●課題の抽出

### ■ 景観特性

#### ■ 自然に着目した特性

- ・みかん畑の背景に山々が広がり、市の景観のアウトラインを形成し、三河湾内では大小の島々が表情豊かな景観を形成している
- ・竹島や 4 つの温泉地を含む地域、山間部などが三河湾国定公園区域に該当する
- ・名木 50 選に挙げられる樹木が市内に分布している

#### ■ 歴史・文化に着目した特性

- ・社寺等の歴史的な景観資源が豊富であり、特徴ある社寺が存在する
- ・「美しい愛知づくり景観資源 600 選」や小中学校の校歌において、本市の特徴的な海、山並み、竹島などがみられる
- ・本市の祭り、イベントの多くは、沿岸部が舞台となっている

#### ■ 生活に着目した特性

- ・漁港や船溜りなどが点在する沿岸部では人々の生活や生業が形成されており、住宅地や山並みと一体となった景観が広がる
- ・個性を創出する商店街がみられるが、その一方で商店の減少により空き店舗や、住宅と混在する様子がみられる
- ・公園や住宅地は蒲郡駅から三河大塚駅の周辺にかけて土地区画整理事業によって整備され、地区計画によって計画的に整ったまちなみを育む地域もみられる

#### ■ まちに着目した特性

- ・愛称のある道路や橋梁などが多く、沿道には銀杏が多くみられる
- ・鉄道駅は駐輪場や駅前広場などが整備されているが、その整備状況は駅により異なる
- ・特色ある公共施設が多く、蒲郡駅周辺を中心とした市街地に分布する
- ・観光施設は竹島をはじめとして沿岸部を中心に豊富に分布する
- ・4 箇所の温泉地では温泉街として発展してきたまちなみが残る一方、老朽化した空き家などが見受けられる

#### ■ 複合的な要素に着目した特性

- ・海側からは竹島や市街地、その背景に連なる豊かな山々が見渡すことができる
- ・標高の高い位置からまとまりある市街地と海を見渡すことができる

### ■ 上位・関連計画の方針

- ・自然のなかで、ゆとりとうるおいを与える良好な都市景観や、市民と企業、行政が協力し、地区の特色を活かした景観の形成に向けた都市景観の維持・保全と創出
- ・郷土の景観をつくる緑やランドマークとなる緑、地域の景観をつくる緑、眺望点となる緑、都市の景観をつくる緑などと調和した景観の形成
- ・恵まれた自然環境の保全と市街地環境との調和などを目指した景観の形成へ向け、本市を代表する地区・拠点やシンボル地区などを育てた多様なまちづくりなどの推進

### ■ 市民意識調査の分析結果

#### ■ 市民の景観に対する関心度

- ・景観への高い関心と、現在の蒲郡市全体の景観への一定の評価が見られる

#### ■ 蒲郡市の景観特性

- ・広い視点での景観に対して魅力的であると感じる一方、地区視点では評価が分かれている
- ・今後も大切にしたい建造物や樹木として、蒲郡クラシックホテル、清田の大クス、竹島橋などが挙げられている
- ・景観を損ねている要因として、管理されていない空き地や空き家のほか、海岸や道路や河川のごみなどが挙げられ、それは温泉地などの景観の評価にも影響している

#### ■ 景観の向上に関連する地域の環境美化

- ・小学校区（コミュニティ）単位での居住地区の評価はいずれも高くない
- ・景観を損ねているものとしては、地域の環境に関するものが多い

#### ■ 今後の景観づくりの方向性について

- ・自然や観光といった現在の景観を継承しつつ、愛着ある、活気溢れる景観づくりが期待されている
- ・景観づくりのルールについて、ある程度必要があり、市全域に最低限のルールが必要である
- ・景観上重要な地区はステップアップした景観形成を進める必要がある
- ・市の景観に関する取組みと、市民による景観づくりへの支援、市民・事業者・行政の協働による景観づくりについて検討する必要がある

### 課題

#### ■ 豊富な自然環境の保全

- ・山なみや海、竹島など本市の景観の骨格となる豊かな自然環境の保全

#### ■ 景観資源の保全・活用

- ・山に囲まれ三河湾を囲む地形を活かした、本市固有の景観である海辺の景観や眺望景観、海側から見た景観の保全
- ・生活・生業により形成されてきた海辺の景観、みかん畑の景観の保全
- ・温泉地で形成された景観を守り、地域性に応じた個性ある景観づくりの推進
- ・駅周辺や商店街などのまちなかにおける、地域性に配慮した魅力ある景観づくりの推進
- ・公共空間における魅力的な都市景観の推進
- ・地域の資産として景観を育む社寺や樹木の保全
- ・まとまりがあり、住み良い住宅地景観の形成

#### ■ 景観を損ねる要因への対応

- ・建築物に対するルールづくり
- ・屋外広告物の適正化
- ・手入れがされていない空き地や空き家への対応
- ・道路や河川、沿岸部のごみなどへの環境美化推進

#### ■ 景観形成へ向けたしくみづくり

- ・市民・企業・行政の協働による景観づくりの推進
- ・市民参加による景観づくりの推進

